

南アフリカ為替週報

2023年12月7日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(11月30日～12月6日)

USD/ZAR: 18.5879～19.0236

ZAR/JPY: 7.73～7.94(参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は対ドルで続落。GDPや貿易収支など南アの経済統計が弱めのものが多かったことも影響したと見られるが、主因は外部要因であろう。先週は11月30日公表の11月分ユーロ圏CPI(速報値)の大幅低下もあり、グローバルにユーロ売り・ドル買いの流れとなった。ランドは対ユーロでは横ばい圏での推移となっている。

先週発表された3つの経済指標、(1)10月分貿易収支、(2)11月分製造業PMI、(3)2023年7～9月期の実質GDP成長率はいずれも、市場予想から上下に大きく乖離した結果となった。

10月分貿易収支は市場予想81億ランドの黒字のところ、127億ランドの赤字となった。輸出の減速(特に基礎金属)、及び輸入の増加(特に原油)が共に影響している。後者に関しては、11月以降、原油価格の下落が加速していることを踏まえれば輸入額の一段の増加は抑えられる公算が大きい。しかし、気がかりなのは前者の輸出側であり、金属輸出の低迷がグローバルな景気減速のリスク(特に不動産市場に不安を抱える中国)を反映したものであれば、南アの国際収支の悪化傾向が続く恐れがある。

11月分製造業PMIは48.2と10月の45.4から改善し、市場予想の45.0を大きく上回った。好不況の判断の境目である50をなおも下回っていることを踏まえれば国内景気はまだ弱いという評価であることに変わりはないものの、南ア経済にとってやや明るい材料である。先行きでは、12月以降、南ア国内のガソリンの卸売価格が低下することも、南アの経済にとってサポート要因となる可能性がある。

2023年7～9月期実質GDP成長率は前年同期比▲0.7%と4～6月期の同+1.5%から減速し、市場予想の同▲0.1%を大幅に下回った。前期比でも▲0.2%と三四半期ぶりの減少となっている。業種別に見て農業(前年同期比▲20.1%)、鉱業(同▲1.9%)といった項目のマイナスが目立つ。また、需要項目別では消費(前期比▲0.3%)が投資(同▲3.4%)にブレーキがかかった形となっている。様々な要因が考えられるが、南アフリカ準備銀行(SARB)による追加利上げが金融機関の貸出姿勢の厳格化につながっている可能性があるだろう。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
11/30	12:00	貿易収支(10億ランド)	10月	8.1b	-12.7b	12.0b
12/1	09:00	製造業PMI	11月	45	48.2	45.4
12/5	09:30	GDP(前年比)	Q3	-0.1%	-0.7%	1.5%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(12月7日～12月13日)

USD/ZAR: 18.00～19.50

ZAR/JPY: 7.60～8.50

今後1週間のランド相場は引き続き、外部環境の動向に敏感な展開が続くだろうが、短期的には強気目線である。今後、本格的な米金利低下・ドル安局面に入るとすれば、代表的な高金利通貨である南ア・ランドへの資金流入が拡大する余地は大きい。もっとも、経常赤字と財政赤字の双子の赤字や、低迷する経済成長率など、南アの経済ファンダメンタルズには脆さがあり、外部環境が再び逆風となりつつある中、ランドには再び下落圧力がかかりやすい点には注意が必要となろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

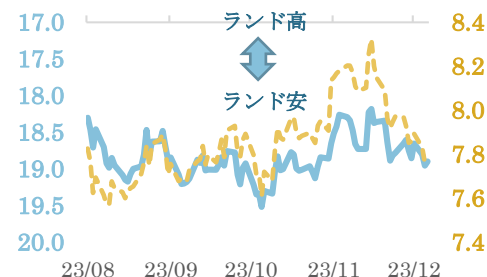
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
12/7	09:00	経常収支(対GDP比)	Q3	-1%		-2.3%
12/12	11:00	製造業生産(前年比)	10月			-4.3%
12/13	08:00	CPI(前年比)	11月			5.9%
	11:00	小売売上高(前年比)	10月			0.9%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

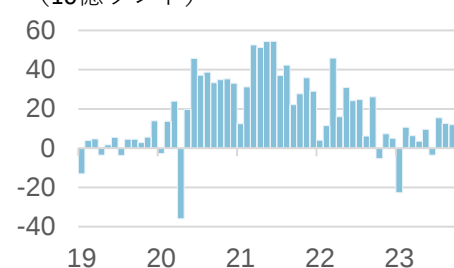
実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



南ア 貿易収支

(10億ランド)

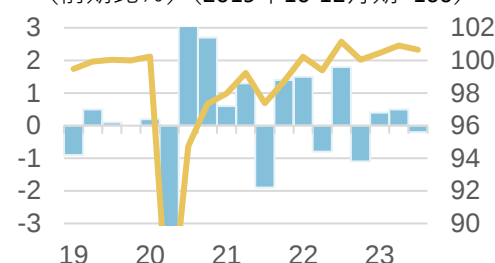


南ア 実質GDP

棒グラフ: 前期比(左軸)

折れ線: 2019年10-12月期を100とした推移

(前期比%) (2019年10-12月期=100)



(資料: 南アフリカ統計局、ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

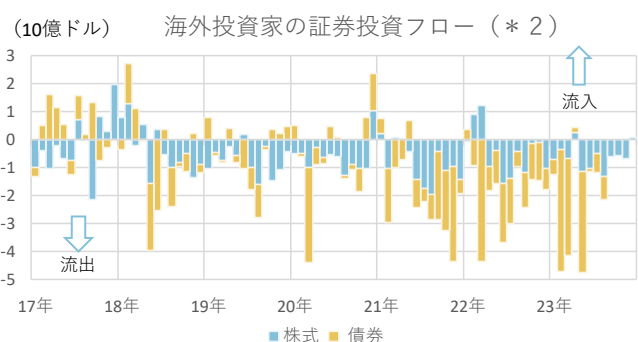
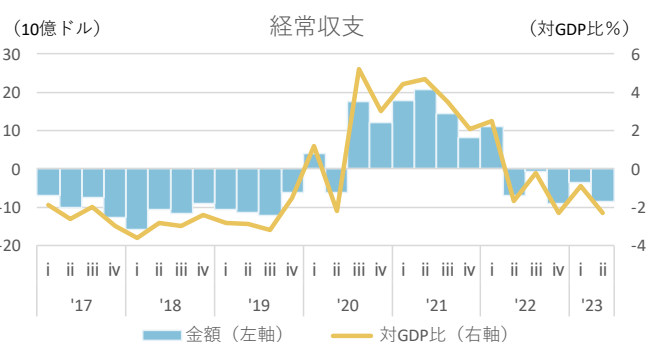
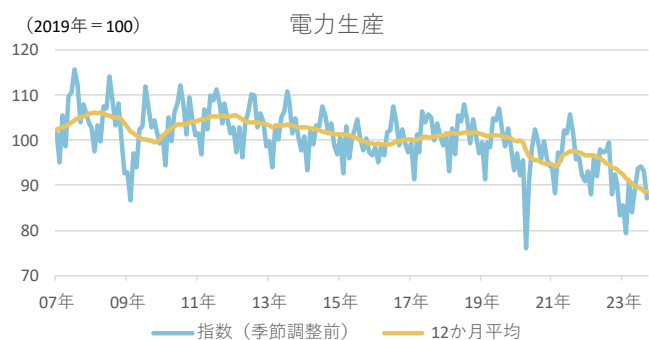
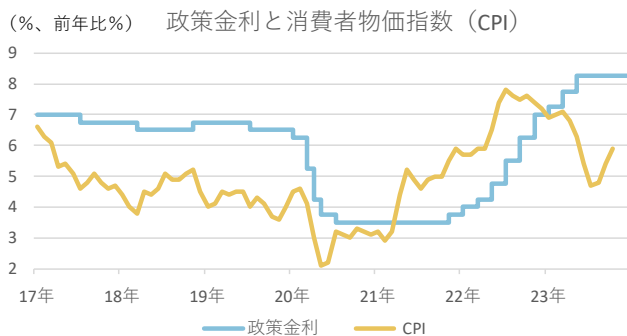
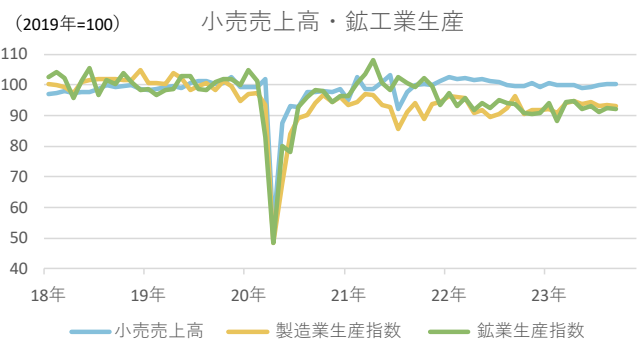
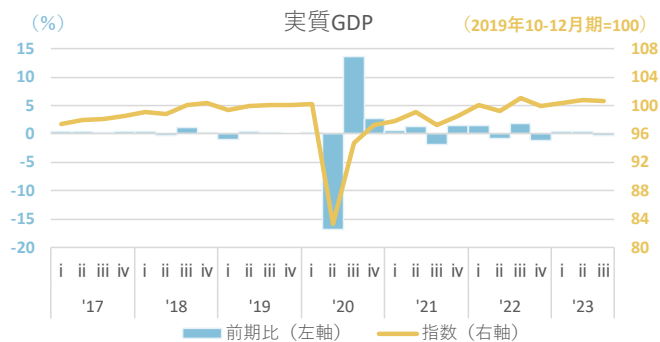
中島 将行

masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

南アフリカ為替週報

2023年12月7日 | みずほ銀行欧州資金部
＜主要経済指標の推移＞



- * 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。
経済アナリストや企業などが調査対象となっている。
ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。
- * 2 : 月次データ。ただし、2023年12月は1日から5日までの累計値。

(資料 ; 南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルグ証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。